



自費診療で経営を強くする

2022
January

自費研 **+** plus

1
Vol.32



ICT・
行動医学を
用いた

木村 穰
先生

新しい診療スタイル

[巻頭特集]

医療アートメイクの可能性

- 医療アートメイク技術者
- 医療補助としてのこれから
- 医療アートメイクカンファレンス

当日の様子

◆医療アートメイクコンテスト



コンテストには57名が参加し、技を競い合いました。普段、扱い慣れていないマネキンに悪戦苦闘しながらも、素晴らしい技術を見せてくれました。

◆展示ブース



医療アートメイクに関する器具や色素などを販売する企業が出展しました。賑やかな雰囲気の中、業界情報や最新トレンドが発信されていました。

ARTMAKE CONTESTS JAPAN 2021
入賞者



総合グランプリ受賞
原田 絵美 様 (医療法人やのクリニック)

自分が総合グランプリを受賞できるとは思ってなかったので、名前を呼ばれた瞬間は舞い上がってしまいました。コンテスト出場を決めたのは、8月の終わりのこと。審査ではマネキンを使うと聞いたので、表面が硬いマネキンに施術する特訓を行いました。本番では、まず眉を施術してリップ、時間があれば最後にアイラインという作戦を立てて挑みました。審査時間が90分だったので、デザインにかかる時間を極力短縮することを目指し、3分で眉をデッサンする練習を重ねました。審査員の有名な先生方に緊張しましたが、特訓の成果を100%出し切れたと思っています。

BROWS グランプリ受賞
金野 莉穂 様 (Grace Beauty Health Clinic)

以前から毛並みにこだわっていたので、BROWS グランプリを受賞できたことはとても嬉しいです。コンテスト出場を決めてからは、勤務先のクリニックのトップアーティストとグランドマスターにアドバイスをもらい、本番はS字で眉を立体的に見せる施術を行うことに決め、練習してきました。コンテストではマネキンを用いたので最初に触ったときは「大丈夫かな」と不安になりましたが、事前にS字を施術すると決めていたので、迷わずに練習の成果を出せたと思っています。ほかの人の技術を勉強する上でもいい機会だと思うので、また出場したいですね。



リップグランプリ受賞
大西 穂乃佳 様 (渋谷の森クリニック)

コンテストには以前から興味があり、出場したいと思っていたのでクリニックの同期3人でチャレンジすることにしました。マネキンに施術するのは違和感がありましたが、私の隣に知っている先輩がいたので、リラックスして挑めました(笑)。もともとリップのアートメイクは大好きで、日ごろの練習の成果を出せたと思います。今後もリップの施術を極めることを目標に努力したいですね。Instagramなどで他の人の症例を見る機会もありますが、ロシアのアートメイク技術は本当にすごいと感心します。世界規模で技術を学びながら上達していきたいと思っています。



第1回 医療アートメイクカンファレンス
アフターレポート

2021年10月17日(日)、医療アートメイク業界の普及と発展のため、第1回医療アートメイクカンファレンスが開催されました。当日はデモンストレーションやミニセミナー、展示ブースが設置され、約500名のお客様が来場。ここではARTMAKE CONTESTS JAPAN2021の審査員の先生方の感想と、受賞者の皆様の喜びの声をお届けします。

審査員の先生方の感想



Biotouch Japan
学校長

赤羽根 優子 先生



患者様と接するように
大会に挑んでほしい

初めて医療アートメイクカンファレンスを開催してBiotouch Japanの卒業生から賛同の声を多数いただき、改めて「開催してよかった」と思いました。私は審査員として参加者の施術を拝見させていただきましたが、皆さんが一生懸命取り組まれている姿を見て嬉しくなるとともに、参加者ごとコンテストに挑む気持ちに温度差があるなと思いました。例えば防護服を着ている人もいれば、そうではない人もいて普段、患者様に施術するのと同じような気持ちでコンテストに挑むように情報発信していくのは次回以降の課題でしょう。学びの場として、続けていければ理想的ですね。



一般社団法人日本メディカルタトゥー協会
代表理事

釜山 美保 先生



正しい情報を発信して
技術向上の手助けに

アートメイクへの医療介入が本格介入してから7年経ちますが、看護師の新たな技術としてもアートメイクを始めたい方が増え続けています。コンテストにもたくさんの方がエントリーされました。会場で皆様の頑張る姿を拝見し、アートメイク業界の隆盛を象徴するシーンに立ち会えたと思っています。ただ、施術や就労などにまつわるトラブルも聞くようになりました。今後も正しい情報を発信し、誤った行動への警鐘を鳴らしていきたいと思っています。看護師の皆様が知識を身につけ、新たな技術を習得できる場所としてカンファレンスが長くことを願っています。



医療アートメイク学会

一般社団法人医療アートメイク学会理事長
東京皮膚科・形成外科総院長

池田 欣生 先生



今後は公益法人化して
法整備を進めたい

今回のコンテストは参加した57名の皆様が日ごろの練習の成果を発揮して、素晴らしい大会になりました。参加した皆様も、お互いに刺激合って成長の糧になったと思います。医療アートメイク学会が立ち上がって今年で7年になります。アートメイクはクリニックなどの医療機関で施術するものという認識が高まってきたと実感していますが、違法な業者が存在するのも事実。今後、さらに啓発していく必要があるでしょう。アートメイク学会としては公益法人化を目指しています。皆様が安心して技術の向上を目指すよう、法整備を進めたいと思っています。